

No.	13-2-6	場所	大鹿村北川	次世代への継承キーワード
名称	災害後の北川集落中心部			構造物による減災 / 避難行動
災害現象	土石流			河川 鹿塩川
補足事項	昭和36年8月1日撮影			支流

概要

大鹿村北部の鹿塩川上流の北川では鉄砲水が襲い掛かり、人命・家屋・農地が失われた。

鹿塩川沿いあった北川分校は土石流によって破壊され、西山で発生した地滑りは、鹿塩川を一時的にせき止め、架かっていた橋は流された。荒れ地となった北川集落は、全戸集団移住を余儀なくされた。

●体験談：災害当時、北川に在住

6月27日の昼近くになって雨が急に激しくなりました。午後1時頃（中略）にはもう**分校前の橋が流される寸前で、濁流は堤防を越えはじめていて、やっとのことで家に帰り着きました。**2時過ぎ、裏山の小花沢がアッという間にあふれ出てきました。（中略）沢の奥でドゥグアーンとものすごい音がしました。立木と石が山になって雪崩のように押しだしてきました。」（土石流の出水で）助かった2人は地下足袋で、流されてしまった3人は長靴でした。長靴の中に泥が入って足をとられたのです。

（「伊那谷の自然」p.306）

記録



三六災害で被害を受けた北川集落の中心部、中央に北川分校が屋根だけ残っている。北川分校は土石流でいち早く破壊された。その後、支溪・大花沢からの土石流で鹿塩川の河床が上昇したため、川沿いの民家が土砂に埋没した。

出典 「伊那谷の自然」p.306、307

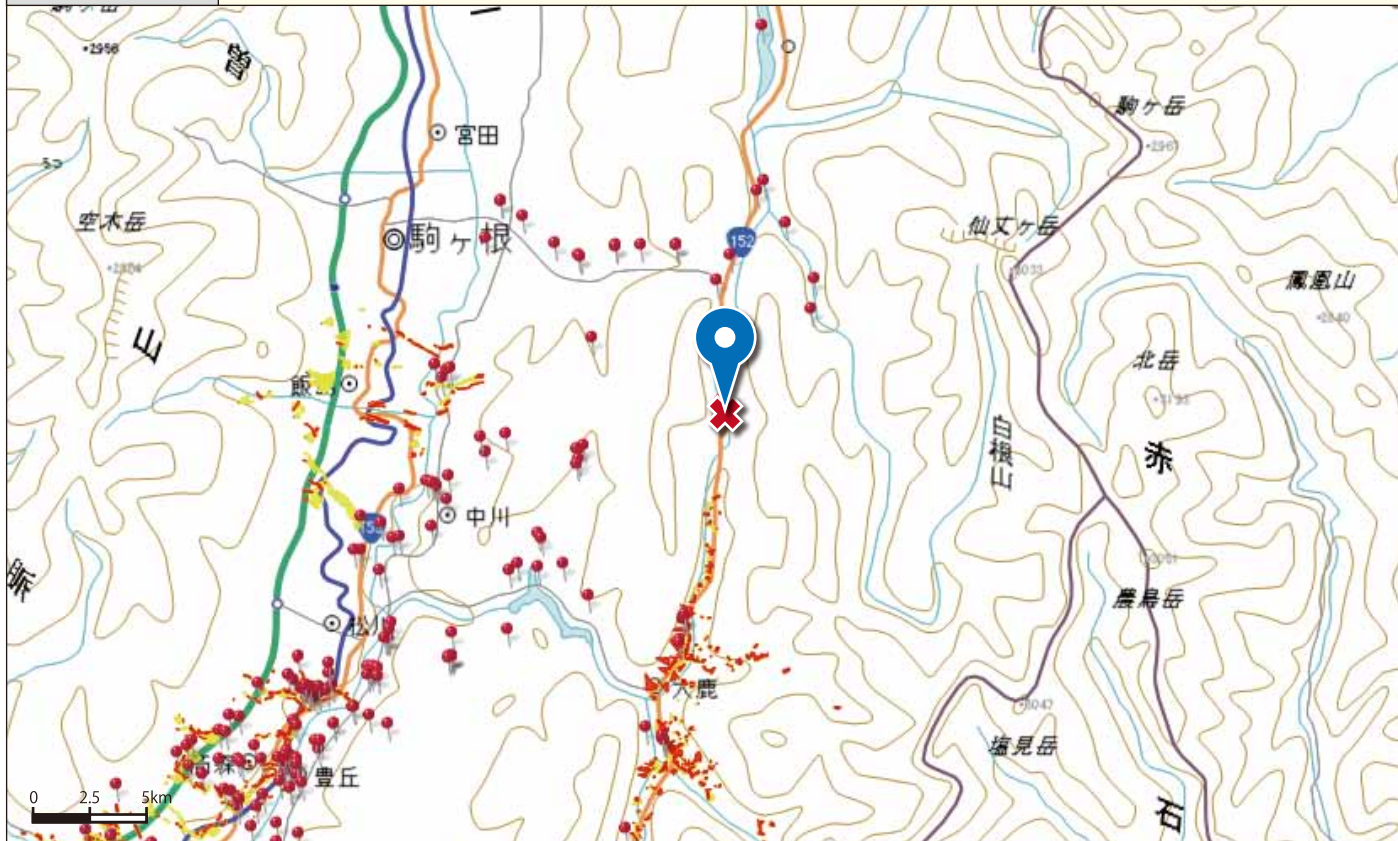
備考

諏訪市
岡谷市
辰野町
箕輪町
南箕輪村
伊那市
高遠町
長谷村
宮田村
駒ヶ根市
飯島町
中川村
大鹿村
松川町
高森町
豊丘村
喬木村
上村
飯田市
南信濃村
清内路村
阿智村
浪合村
平谷村
下條村
阿南町
売木村
天龍村

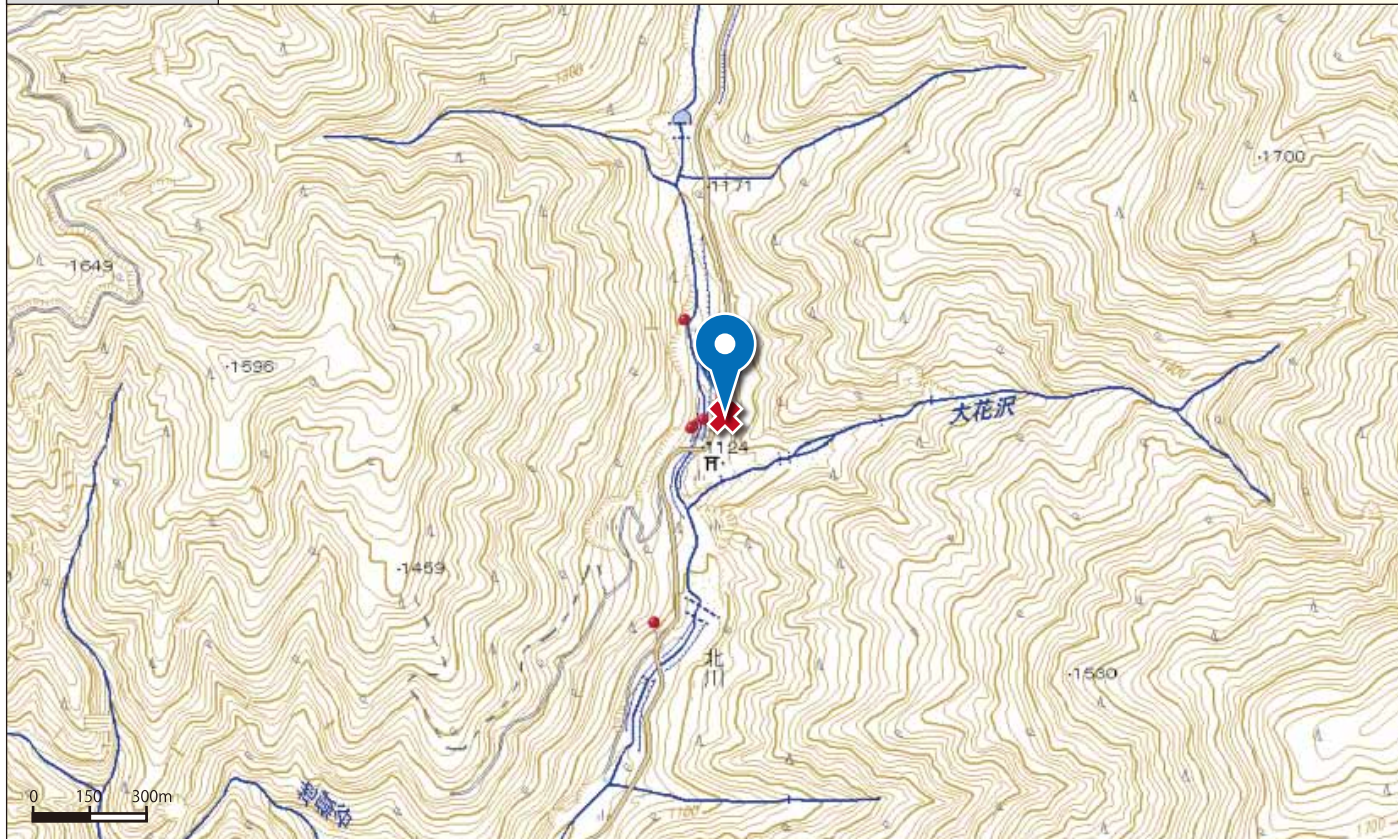
No.	13-2-6	場所	大鹿村北川	緯度	35.667185
-----	--------	----	-------	----	-----------

名称	災害後の北川集落中心部	経度	138.065132
----	-------------	----	------------

地図	広域図
----	-----



地図	詳細図
----	-----



備考	上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通称：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。
----	---